

令和7年度 第1回鶴岡市スポーツ推進審議会 会議概要

- 日 時 令和8年3月26日（木）午後1時30分から午後2時35分
- 会 場 つるしんアリーナ小真木原大会議室
- 審議事項 令和8年度スポーツ団体への補助金交付について
- 出席委員 山本益生会長、佐藤しおり副会長、阿部廣弥委員、佐藤祐司委員、沓澤誠委員、齋藤秀志委員、丸山春男委員、平賀振一郎委員、佐藤利浩委員、鎌田博子委員、佐藤真紀委員、
- 欠席委員 布施愛加委員、風間成彦委員、五十嵐暢弘委員、佐藤満子委員
- 市側出席職員 鶴岡市教育委員会 教育長 成澤和則、同教育部長 白幡有、同学校教育課長 秋山尚志、同学校教育課指導係専門員 清和玄詞、同スポーツ課長 阿部三成、同スポーツ課長補佐 佐藤絵理、同スポーツ課主査 大川智之、同スポーツ課主査 松浦淳
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴人の人数 0人
- 審議経過 以下のとおり
- 協議題等：
 - 4 議事
 - (1) 令和8年度スポーツ団体への補助金交付について
→委員からの意見なし
 - 5 報告並びに説明
 - (1) 令和7年度スポーツ振興主要事業等の実施状況について
→委員からの主な意見は以下のとおり
 - (2) 令和8年度スポーツ振興重点施策について
→委員からの主な意見は以下のとおり
 - (3) その他 →委員からの主な意見は以下のとおり

5 報告並びに説明

(1)令和7年度スポーツ振興主要事業等の実施状況について(委員から出された意見)

委員 各施設のネーミングライツもかなり浸透してきていると感じています。パートナーからの財源があると思いますが、修繕が必要な場合など、その施設に特化した財源なのか、また、財源をまとめて一般の予算として配分しているのか教えていただきたいです。

事務局 ご質問いただきました、財源として、何の施設に、どう使うかということですが、すべては維持管理経費として活用させていただいております。なるべくその施設に特化した施設修繕や改修を行う方針ですので、例えば今年度、野球場の小真木原野球場のネーミングライツを行った際には、スコアボードの改修や、クレイと芝生の段差修繕、観客席から室内への雨漏りの修繕を行うことができ、ネーミングライツパートナー導入の成果であると認識しております。このつるしんアリーナ小真木原についても、様々な改修の財源として活用させていただいておりますので、どちらかとい

えば、ネーミングライツを行った施設については、維持管理費の財源が確保できているという認識でおります。

委員 各現在進行中の人工芝グラウンド整備について、令和9年度に完成するという説明がありましたが、進捗状況は。順調に進んでいるのでしょうか。

事務局 ただいまの旧鶴岡病院跡地への人工芝グラウンド整備工事については、今年の6月5日までが、病院の解体工事の工期となっております、工期内に完了する旨の報告を受けております。その後、人工芝グラウンドの整備工事に着手する予定です。その工期も約1年必要ですので、供用開始については、令和9年の秋頃というような形で現在準備を進めているところであります。

委員 トレーニングルームの機器についてです。市民の皆様が、若い方から高齢の方まで、障害の有無に関係なく利用されてます。そういった中で、今年度も設置してある機器の故障が見られた。いずれの器具も随分古くなってきている点について、どのように考えておられますか。

事務局 ご質問の経年使用しているトレーニング機器の状態については十分認識しております。やはり利用者の安全を第一に、最低限の点検や安全確認の徹底について施設管理者と連携して行っております。点検や修繕を行い耐用年数の長寿命化を図るとともに、整備に要する予算の確保に向け、検討を重ねております。また、市の財源だけでなく、民間の企業よりご提供いただく取り組みも含め、今後検討してまいります。

委員 市のトレーニングルームについては、非常に期待され、利用されておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

会長 器具が大変に高額になっています。例えば鶴岡市スポーツ協会でクラウドファンディングを行う等の方法もあります。いずれにしてもなかなか難しいと考えております。できれば、鶴岡市スポーツ協会での維持管理費での整備も視野に入れ、鶴岡信用金庫様からいただいた寄付を活用する方法なども考えながら、市とも協力のもと鶴岡市スポーツ協会も頑張っていきたいと思っております。

委員 「故障中」や「使用できません」という張り紙を見かけて気になっています。

会長 民間のトレーニング施設もたくさんありますが、料金のこともあり、市のトレーニングルームを使用したい方は多くいらっしゃいます。その声に応えるためにも頑張っていきたいと思っております。

(2)令和8年度スポーツ振興重点施策について(委員から出された意見)

委員 重点施策(1)の①のところに、個人のライフスタイルに合わせたスポーツ活動への動機づけによる、スポーツ実施率の向上というのがありますが、健康に繋がる生涯スポーツを推進する上でこの比率というのは、非常に大切なのではないかなと私は考えます。この実施率を、どのようにして把握するのかという質問なんですが、後ろに各施設の利用状況等の資料があり、それぞれから推測することも可能かと思いますが、どのようにしてこの実施率の向上等を把握するのか、また鶴岡市として目指す実施率を設定しているのでしょうか。

事務局 スポーツ課では、これまで「スポーツの実施状況等に関するアンケート調査」を実施してまいりました。第2期スポーツ推進計画策定の際は、令和5年度に18歳以上の無作為に抽出した市民の方1,000名に郵便調査法でアンケートを実施させていただいております。

こちらのアンケートにつきましては、5年ごとのスポーツ推進計画策定時と中間の次期に行っており、およそ2,3年に1回の間隔で、成人の週1回以上および週3回以上の運動実施率を調査

しております。今年度につきましては、これまでの郵便調査法からオンライン調査に変更し実施いたしました。鶴岡市の公式ラインや市のホームページから回答いただきました。今年度の結果につきましては、集計後、市のホームページで公表させていただきたいと思っています。また、本市で設定している目標につきましては、第2期鶴岡市スポーツ推進計画において、成人の週1回の運動実施率を令和10年度までに70%と設定させていただいております。今年度調査しましたところ、18歳以上の方の週1回以上の運動実施率は70%弱でありました。

委員 昨年も大問題だったクマ対策の方法は昨年と同じですか。怖くてウォーキングができないという声も聞かれました。商工会議所でも様々なイベントを控えている中で、それで目撃情報が出るとイベントそのものが開催できなくなるという可能性もありますが、何か対策など考えられているかどうか、お聞きしたいと思います。

事務局 去年ですが、9月に開催したウォーキング事業「つるおかスリーデーウォーク」の直前にコースの近くに目撃情報があり、急遽、コースの変更を検討したケースはありました。市教育委員会とそれぞれの実行委員会で事前に協議するほか、前日や当日に、クマの目撃情報があった場合は、コースの変更やそれに伴う誘導方法等の対策を考えておりますので、今後開催する場合も、市教育委員会と実行委員会が連携しながら、進めてまいりたいと思います。なお、実行委員会では、今年度及び来年度に向け、撃退用スプレーや人間の存在を知らせる音を出すもの等のクマ対策用のグッズもある程度揃えておりますので、それを活用しながら、万が一、もし遭遇した場合の対応についても考えてまいります。

会長 完璧なものは難しいと思いますが、引き続き注意を払って対策を進めていただければいいと思います。

委員 小真木原公園もウォーキングコースがあります。ウォーキングやランニングしてる方はとても多いようです。クマの心配がなければ朝4時頃から、夜は9時半頃まで一般の方や高校生が利用されています。でも、クマの目撃情報が相次いだ時期は、施設管理の皆さんが、敷地内での周知活動や巡回等の対応を頑張っていたいただいたおかげかと思いますが、その時期は皆さん注意していただいていたようです。また、その代わりに、ウォーキングコースとして館内を開放いただくなどの対応は、大変よかったですと思います。

委員 14ページ(3)③のイについてです。鶴岡水泳連盟さんより、山形県の場合、全国大会が開催できるプールがないとお聞きしております。開催地の輪番が山形県であっても、秋田県にお願いしている状況とのことでした。重点施策に施設の再配置を含めた整備とありますので、鶴岡市での整備をお願いしたいわけではないですが、何らかの方向性や、県立のプールの整備の可能性も含めて様々な検討をいただければと思います。近年、水泳に取り組む人数は以前より減少は見られるものの、やはり鶴岡市は水泳競技が盛んであった地域ですので、何らかの形で方向性が見出せればという声がありますのでこの場をお借りしてお伝えしたいと思います。

会長 大きな大会が実施できるような新規の施設整備は基準が厳しくなっています。現在改修を行っている陸上競技場についても、二種の公認に必須な器具の整備があるようです。行政も予算の範囲で整備を進めていると思いますので、要望する声があるということだけ受け止めたいと思います。

委員 市民健康スポーツクラブでも水泳のコースがありますが、参加者が減少傾向であります。また、子どもたちや一般の方々の利用も減少しているほか、近年は学校でのプール授業も縮小傾向のようですので、ぜひ、今あるこのプールを大切に、市民の皆さんに気持ちよく利用いただけるようでき

ることをしていただければと思います。例えば更衣室やシャワー室をもう少しきれいにしていただければと思います。

(3)その他

委員 つるおか健康ポイントについて、目標である40ポイントを達成すると抽選でプレゼントが当たるようですが、当選確率はどのくらいだったのでしょうか。当クラブの会員も大勢取り組んでいただき、当選をご報告くださる会員の方もいらしたので気になりました。

事務局 当選率はおおよそ達成者の30%程度でした。1月に抽選を行い、2月からプレゼントの引き換えを行いました。当選された方々へは周りの方へお話しして、周りをお誘いいただくようお願いをしましたので、実際当選のお話しをしてくださったことは大変ありがたいです。本日ご参加の委員の皆様にもぜひご参加いただき、より多くの方に健康に関心を持っていただくことにつながると考えておりますので、次年度についてもどうぞご協力をお願いできればと思います。また、スポーツクラブの皆様からもお声がけいただいたことで1,000人を超える参加をいただけたと思います。今年度の実績を市ホームページでご報告させていただく予定です。

事務局 補足させていただきますと、3月末までの間に参加登録いただいた約1,000人の方に対して、ラインでアンケートを実施しておりますので、ぜひそういうアンケートにもいろいろな意見いただきながら、今後の取り組みに反映できればと考えておりますので、アンケートの回答についても、クラブ員の皆さんに働きかけをお願いいたします。

委員 スポーツ少年団での活動は、小中学校の体育館や各地域の体育館を使用していることが多いのですが、それぞれの施設には熱中症指数計は設置されていますか。また、使用する団体の指導者が確認できる状態でしょうか

事務局 教育委員会で管理する、地域の体育館にはおおよそ整備されております。室温及び湿度が計測でき、その結果熱中症指数がわかるというものは整備されています。

事務局 学校については、基本的には小中学校体育館には、常備されているものと認識しておりますが、常備されていなくても、授業等の運動をする場合には、対応の教員がその都度計測する状況であります。実際の休日夜間等の学校開放の際、利用者の方が確認できる状況であるかについては確認できておりませんので、今後、校長会等を通して状況を確認してまいりたいと思います。

委員 部活動の地域展開に関してです。多くの競技があり、部活動は地域で受け入れるという取り組みは、所管を学校教育課かと思いますが、部活動の地域展開に対する来年度の政策について教えてください。

(事務局資料配布)

事務局 ただいま資料を配付させていただきました。令和5年度からの部活動の地域移行を経て、令和8年度は地域展開の改革実行期間1年目として今後6年間かけて実行していくという国の流れを受けまして、鶴岡市といたしましては、令和5年度から進めてまいりました部活動地域移行のために立ち上げていただいたスポーツ団体及び文化団体が、引き続き持続的に活動できる、環境整備の推進を方針に取り組んでまいりたいと考えております。具体的には、これまで立ち上げていただいたスポーツ団体及び文化団体への支援として、補助金の交付を継続して参りたいと考えており、これまで部活動地域移行の受け皿として活動いただいているスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブのほか、同じく部活動の受け皿として立ち上げていただいた民間クラブにも支援をしていく考えでおります。令

和7年度まで、保護者会クラブであった団体についても、今後どう活動を維持していくかについて検討を継続していただきながら、毎年毎年代表者が変わるような形ではなく、継続的な運営が可能な体制の構築をお願いしてまいります。また、今年度まで保護者会クラブとして活動していた各団体に対しましても、令和8年度については引き続き、土日は学校施設の利用など同様の活動ができるような支援を継続しながら、今後の活動について検討がなされるように、学校教育課としても支援していきたいと思っております。まずは持続的な活動環境を維持するための土台づくりを進めてまいりたいと思います。

委員 わかりました。

会長 来年度の方向性についてご説明いただきました。中学生の部活動地域展開については本当に様々なケースが考えられると思いますので、スポーツ及び文化活動について多くの可能性を探っていただきたいと思っております。